

第 9 回改定検討委員会（10 / 12） 主なご意見

主な意見	対応（案）
<p>市街地形成の歴史について</p> <p>○前回マスタープラン改定後における都市計画の変遷を「はじめに」の「市街地形成の歴史」等の中でもう少し記載があると良い</p>	<p>「市街地形成の歴史」および「分野別構想」の概況に都市計画の変遷を追記した</p>
<p>協治（ガバナンス）について</p> <p>○協治（ガバナンス）による主な取り組み事例を、「地域別構想」、「推進方針」にも具体的に記載すると良い</p>	<p>取り組み事例を、「地域別構想」のまちづくりの実績、「推進方針」のまちづくり事例にて紹介した</p>
<p>「推進方針」と都市像等について</p> <p>○「推進方針」において、4つの都市像や4つのエリアを踏まえた戦略的な取り組みを紹介すると、今後進めていくべき方向性が分かりやすくなる</p>	<p>「推進方針」では、4つの都市像を意識したまちづくりのテーマを提案し、今後の取り組み方策を具体的に紹介している</p> <p>○まちづくりのテーマは、すみだらしさを表現する特徴的なものとして、「下町らしさ」「ものづくり」「災害に強いまち」の3つを例示し、まちづくりのテーマと関連する地区・資源の考え方も記載した</p>
<p>事業者との連携について</p> <p>○「推進方針」において、区民だけでなく、事業者との連携によるまちづくりについても触れられると良い</p>	<p>まちづくりの実現に向けた考え方において、まちづくりを進める上で区民、事業者、NPO、行政による連携・協力の必要性を図化して示した</p> <p>【区民・事業者の取り組みの方向性、期待する役割】で事業者の役割等について記載した</p>
<p>区民への周知や区民の理解しやすさについて</p> <p>○本編、概要版、電子データ版での情報提供のほか、区民に読んでもらいやすく、理解しやすい構成とすることが重要である</p> <p>○東京においては、多言語対応を不可欠と考えた方が良い</p> <p>○地域別構想の部分は、必要な地域（お住まいの地域）だけ抜き出せるよう、概要版を6分冊にすると良い</p>	<p>区ウェブサイトにて、都市計画マスタープランの電子データ版を閲覧できるようにするとともに、構成を分かり易く示すなど、知りたい情報にたどり着きやすくする工夫をしたい</p> <p>墨田区においても、外国人居住者が増えている。現在のところ、外国語対応版の作成は考えていないが、来年度パネル展示等にて都市計画マスタープランを広く周知することとしており、その際に外国人向けの対応を検討したい</p> <p>現在のところ、地域の需要がわからないことから、概要版を現在のスタイル（1冊）で作成する予定である。なお、電子データでは、地域ごとに情報を取り出せるよう工夫したい</p>